



2023年度 第1四半期 決算補足説明資料

2023年8月1日

南海電気鉄道株式会社（東証プライム市場 9044 <https://www.nankai.co.jp/>）

2023年度 第1四半期 決算概要



1. 業績ハイライト

(単位:百万円)

	2023/1Q 実績	2022/1Q 実績	増減額	増減率
営業収益	54,845	51,842	3,003	5.8%
営業利益	6,827	4,797	2,030	42.3%
営業外収益	734	681	53	7.8%
営業外費用	957	990	△ 32	△ 3.3%
経常利益	6,603	4,487	2,115	47.1%
特別利益	—	84	△ 84	△ 100.0%
特別損失	374	157	216	137.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,235	3,147	1,087	34.5%

<主な増減理由>

建設業における完成工事高の増加や、運輸業における輸送人員の増加等により増収増益

2. セグメントの構成状況（2023年6月末現在）

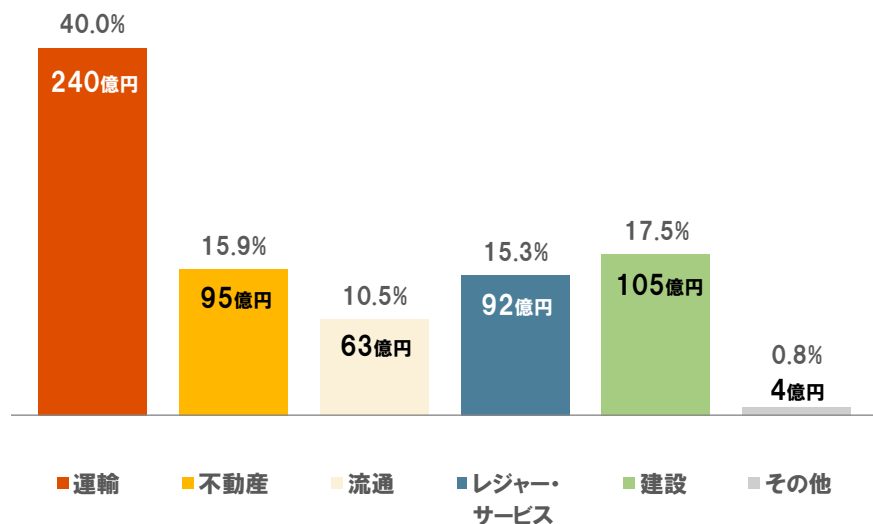
【連結子会社54社・非連結子会社17社・持分法非適用関連会社6社】

（対2023年3月末 増減なし）

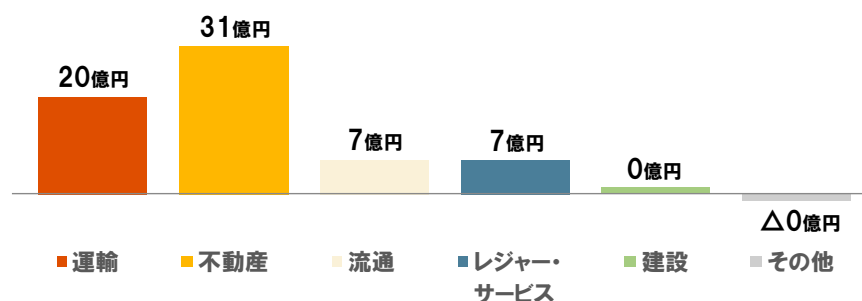


※ 当社は運輸業、不動産業、流通業、レジャー・サービス業に、泉北高速鉄道株式会社は運輸業と不動産業に重複して含まれております。

【セグメント別営業収益】



【セグメント別営業利益】

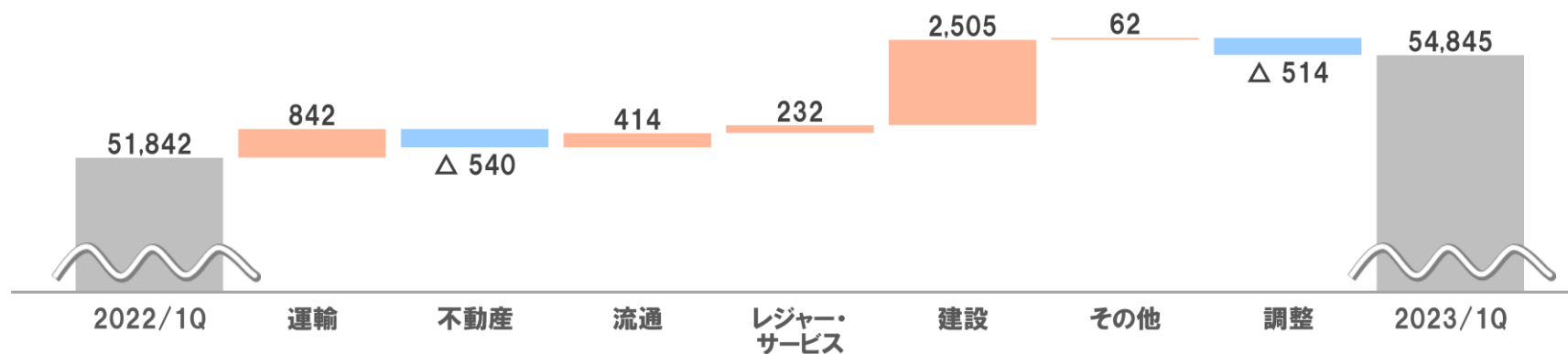


※ 構成比:セグメント間取引を含む営業収益に対する比率

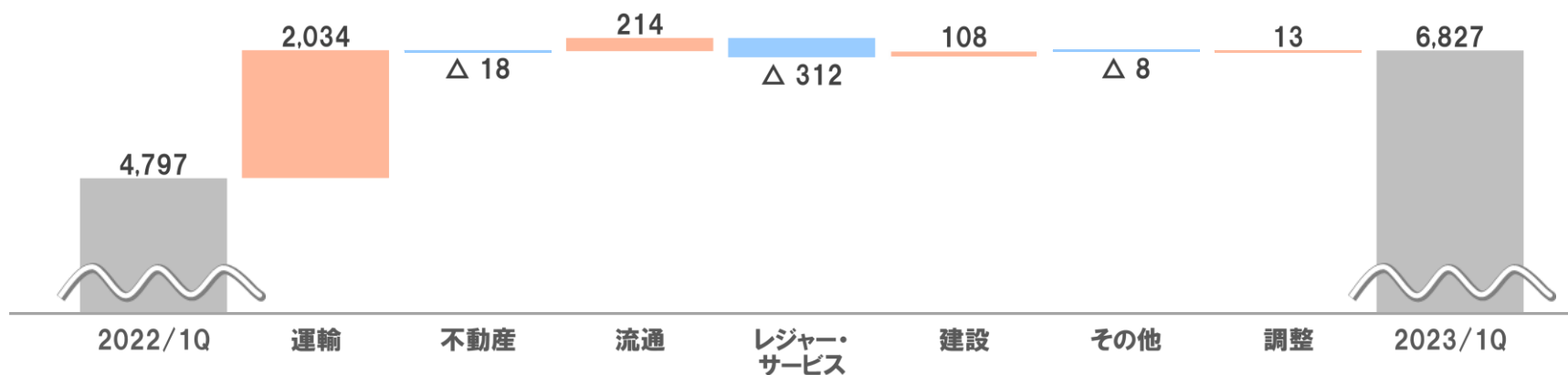
2. セグメント別営業収益・営業利益

① 営業収益の増減額

(単位:百万円)



② 営業利益の増減額



2. セグメント別営業収益・営業利益

(単位:百万円)

	営業収益				営業利益			
	2023/1Q 実績	2022/1Q 実績	増減額	増減率	2023/1Q 実績	2022/1Q 実績	増減額	増減率
運 輸 業	24,052	23,210	842	3.6%	2,082	47	2,034	—
不 動 産 業	9,571	10,111	△ 540	△ 5.3%	3,160	3,179	△ 18	△ 0.6%
流 通 業	6,335	5,921	414	7.0%	714	500	214	42.8%
レジャー・ サービス業	9,235	9,002	232	2.6%	723	1,035	△ 312	△ 30.2%
建 設 業	10,508	8,003	2,505	31.3%	57	△ 51	108	—
その他の事業	497	435	62	14.4%	△ 73	△ 64	△ 8	—
調 整 額	△ 5,357	△ 4,842	—	—	162	149	—	—
合 計	54,845	51,842	3,003	5.8%	6,827	4,797	2,030	42.3%

‘なんかいいね’があふれてる

2. セグメント情報(運輸業)

(単位:百万円)

運輸業	2023/1Q 実績	2022/1Q 実績	増減額	増減率
営業収益	24,052	23,210	842	3.6%
鉄道事業	15,165	13,325	1,840	13.8%
バス事業	5,686	4,436	1,250	28.2%
その他の運輸業	4,752	6,902	△ 2,150	△ 31.1%
調整額(セグメント内)	△ 1,551	△ 1,453	—	—
営業利益	2,082	47	2,034	—
主な内訳				
鉄道事業	1,487	273	1,214	444.6%
バス事業	528	△ 355	884	—

<主な増減理由>

・貨物運送業における減収があったものの、鉄道事業やバス事業において前年同期と比べ輸送人員が増加したこと等により増収増益

2. 鉄道旅客収入及び輸送人員表(個別)

(単位:百万円・千人)

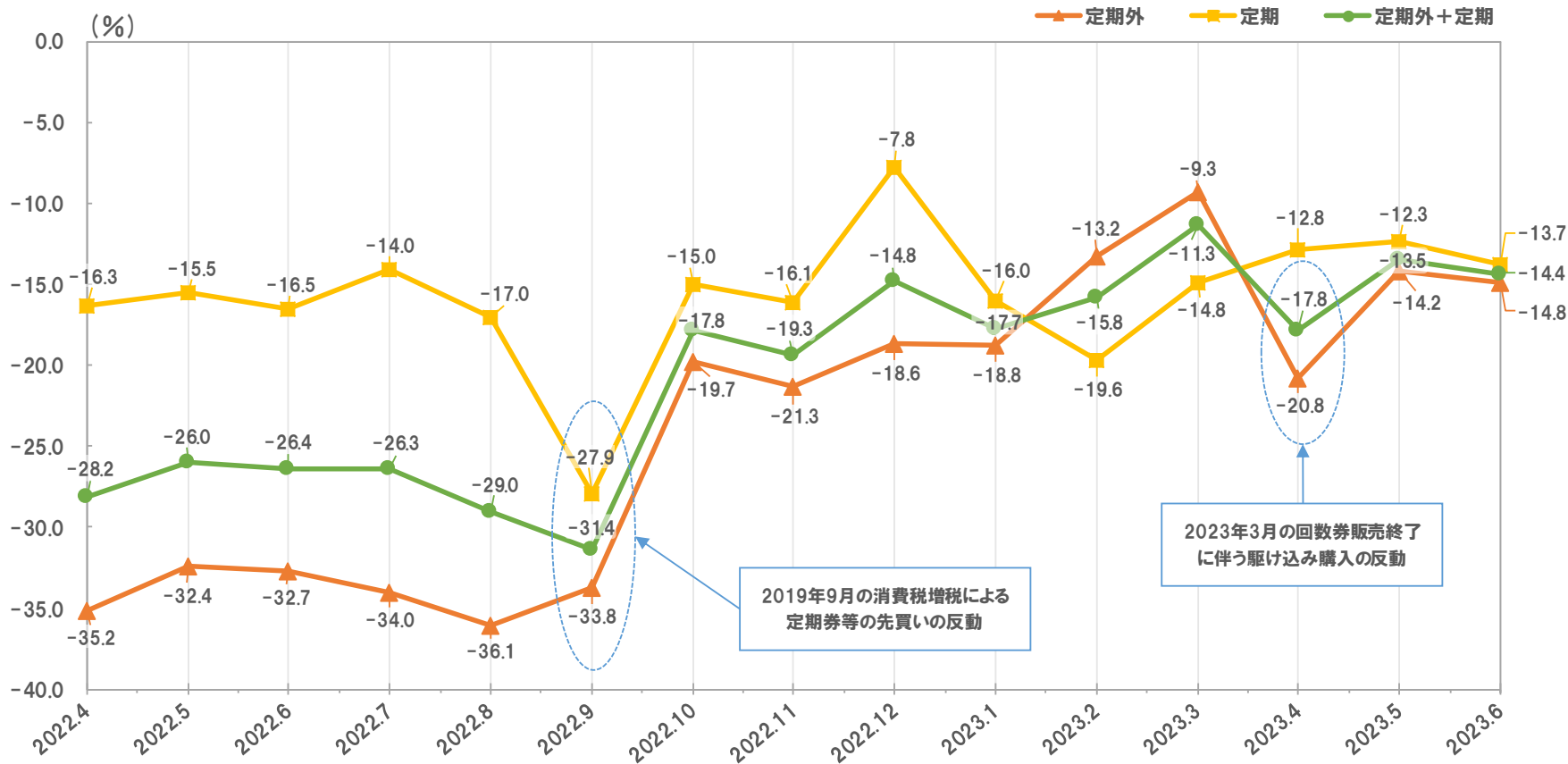
全線			2023/1Q 実績	2022/1Q 実績	増減	増減率
旅客収入	定期	外	7,767	6,200	1,567	25.3%
	定期	期	4,981	4,802	178	3.7%
	合	計	12,749	11,002	1,746	15.9%
輸送人員	定期	外	21,525	19,412	2,113	10.9%
	定期	期	32,100	31,191	909	2.9%
	合	計	53,625	50,603	3,022	6.0%

空港線			2023/1Q 実績	2022/1Q 実績	増減	増減率
旅客収入	定期	外	1,952	747	1,204	161.2%
	定期	期	294	207	87	42.3%
	合	計	2,247	954	1,292	135.4%
輸送人員	定期	外	2,419	1,047	1,372	131.0%
	定期	期	984	709	275	38.8%
	合	計	3,403	1,756	1,647	93.8%

‘なんかいいね’があふれてる

2. セグメント情報(運輸業)

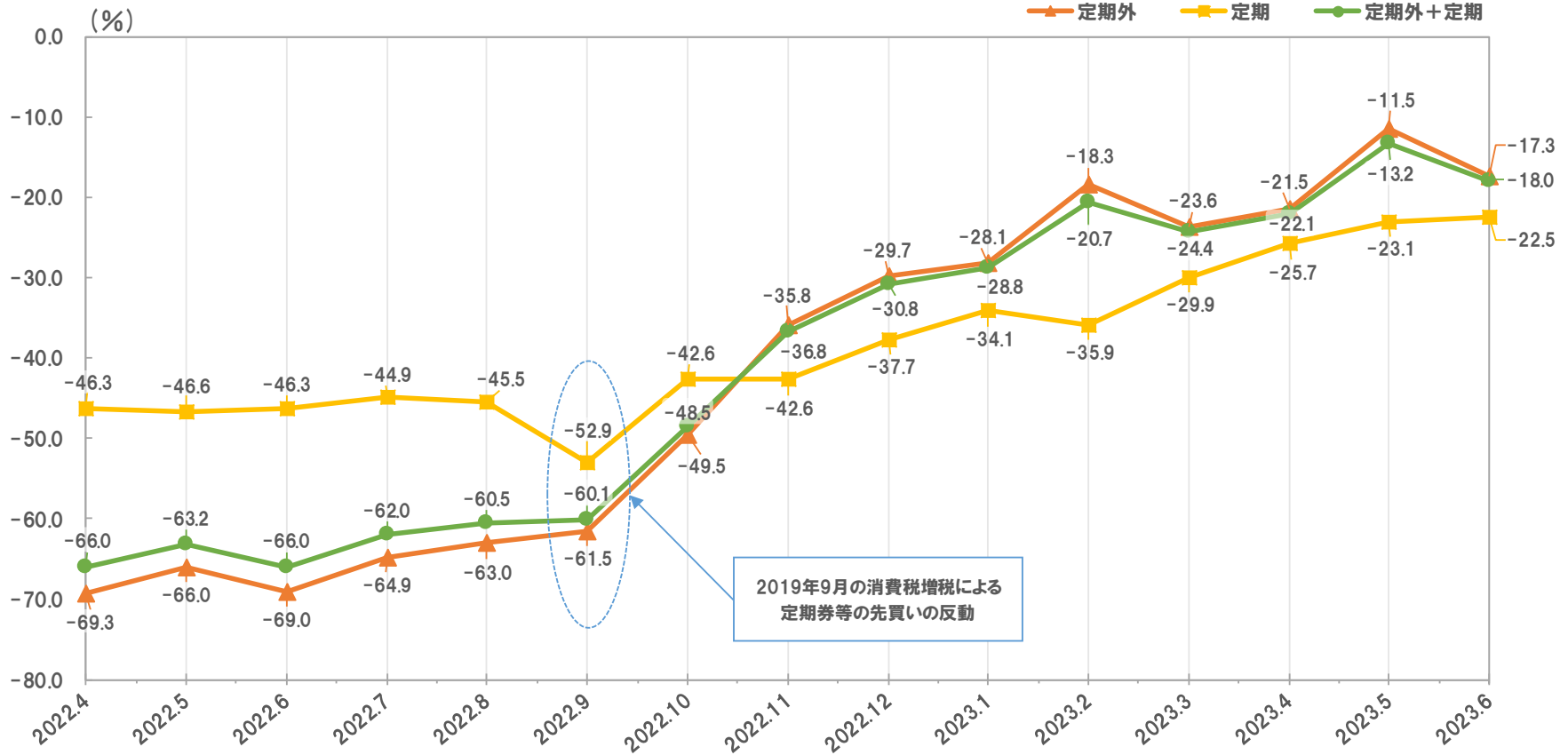
【参考1】(個別－全線)鉄道旅客収入 2019年同月比増減率の推移



※ 2021年4月以降、「収益認識に関する会計基準」等を適用しておりますが、影響額を調整せず単純比較で増減率を算出しております。

2. セグメント情報(運輸業)

【参考2】(個別-空港線)鉄道旅客収入 2019年同月比増減率の推移



※ 2021年4月以降、「収益認識に関する会計基準」等を適用しておりますが、影響額を調整せず単純比較で増減率を算出しております。

2. セグメント情報(不動産業)

(単位:百万円)

不動産業	2023/1Q 実績	2022/1Q 実績	増減額	増減率
営業収益	9,571	10,111	△ 540	△ 5.3%
不動産賃貸業	8,618	8,249	369	4.5%
不動産販売業	1,157	1,906	△ 748	△ 39.3%
調整額(セグメント内)	△ 205	△ 44	—	—
営業利益	3,160	3,179	△ 18	△ 0.6%
主な内訳				
不動産賃貸業	3,177	3,151	25	0.8%
不動産販売業	24	69	△ 44	△ 64.5%

<主な増減理由>

- ・不動産賃貸業は、入国制限の解除に伴うホテル賃貸料収入の増加等により増収増益
- ・不動産販売業は、マンション販売の減少等により減収減益

2. セグメント情報(流通業)

(単位:百万円)

流通業	2023/1Q 実績	2022/1Q 実績	増減額	増減率
営業収益	6,335	5,921	414	7.0%
ショッピングセンターの経営	3,504	3,366	138	4.1%
駅ビジネス事業	3,226	2,857	368	12.9%
その他の流通業	54	131	△ 77	△ 58.7%
調整額(セグメント内)	△ 449	△ 434	—	—
営業利益	714	500	214	42.8%
主な内訳				
ショッピングセンターの経営	385	260	124	47.8%
駅ビジネス事業	338	259	79	30.6%

<主な増減理由>

- ・ショッピングセンターの経営は、賃貸料収入が増加したこと等により増収増益
- ・駅ビジネス事業は、コンビニエンスストアの売上が好調に推移したこと等により増収増益

2. セグメント情報(レジャー・サービス業)

(単位:百万円)

レジャー・サービス業	2023/1Q 実績	2022/1Q 実績	増減額	増減率
営業収益	9,235	9,002	232	2.6%
ビル管理メンテナンス業	5,179	4,912	267	5.4%
その他のレジャー・サービス業	4,553	4,555	△ 1	△ 0.0%
調整額(セグメント内)	△ 497	△ 464	—	—
営業利益	723	1,035	△ 312	△ 30.2%
主な内訳 ビル管理メンテナンス業	155	147	7	5.2%

<主な増減理由>

- ・ビル管理メンテナンス業は、ビルメンテナンス収入の増加等により増収増益
- ・その他のレジャー・サービス業は、ポートレース施設賃貸業において電話投票売上の減少に伴い歩合賃料収入が減少したこと等により減収減益

2. セグメント情報(建設業 / その他の事業)

(単位:百万円)

建設業	2023/1Q 実績	2022/1Q 実績	増減額	増減率
営業収益	10,508	8,003	2,505	31.3%
建設業	10,509	8,004	2,505	31.3%
調整額(セグメント内)	△ 0	△ 0	—	—
営業利益	57	△ 51	108	—

<主な増減理由> 完成工事高の増加等により増収増益

(単位:百万円)

その他の事業	2023/1Q 実績	2022/1Q 実績	増減額	増減率
営業収益	497	435	62	14.4%
その他の事業	507	437	70	16.1%
調整額(セグメント内)	△ 9	△ 2	—	—
営業利益	△ 73	△ 64	△ 8	—

<主な増減理由> システム収入の増加等により増収、売上原価や経費等の増加により減益

3. 営業外・特別損益の状況

(単位:百万円)

	2023/1Q 実績	2022/1Q 実績	増減額	摘要
営業外収益	734	681	53	
受取利息	1	1	△ 0	
受取配当金	610	497	112	
雑収入	122	182	△ 59	
営業外費用	957	990	△ 32	
支払利息	859	902	△ 43	
雑支出	98	88	10	
特別利益	—	84	△ 84	
工事負担金等受入額	—	69	△ 69	
その他	—	14	△ 14	
特別損失	374	157	216	
投資有価証券評価損	332	—	332	
固定資産除却損	42	76	△ 34	
工事負担金等圧縮額	—	55	△ 55	
その他	—	26	△ 26	

4. 資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	2023/1Q末	2022年度末	増減額	主な増減理由												
流動資産	90,252	103,616	△ 13,363	<ul style="list-style-type: none"> ●流動資産 ・現金及び預金の減少 △84億円 ・未収金の回収による流動資産その他の減少 △57億円 												
固定資産	837,715	831,497	6,218	<ul style="list-style-type: none"> ●固定資産 ・投資有価証券の増加 +55億円 ・建設仮勘定の増加 +44億円 ・減価償却に伴う建物及び構築物の減少 △34億円 												
資産合計	927,968	935,113	△ 7,145	<ul style="list-style-type: none"> ●負債 												
負債合計	648,078	660,526	△ 12,448	<p>【有利子負債残高】 (単位:億円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2023/1Q末</th> <th>2022年度末</th> <th>増減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有利子負債</td> <td>4,574</td> <td>4,745</td> <td>△ 170</td> </tr> <tr> <td>純有利子負債</td> <td>4,274</td> <td>4,361</td> <td>△ 86</td> </tr> </tbody> </table>		2023/1Q末	2022年度末	増減額	有利子負債	4,574	4,745	△ 170	純有利子負債	4,274	4,361	△ 86
	2023/1Q末	2022年度末	増減額													
有利子負債	4,574	4,745	△ 170													
純有利子負債	4,274	4,361	△ 86													
純資産	279,889	274,586	5,302	<ul style="list-style-type: none"> ・支払手形及び買掛金の減少 △36億円 ・前受金の増加による流動負債その他の増加 +81億円 												
負債純資産合計	927,968	935,113	△ 7,145	<ul style="list-style-type: none"> ●純資産 ・親会社株主に帰属する四半期純利益 +42億円 ・その他有価証券評価差額金の増加 +39億円 ・剰余金の配当 △28億円 												

‘なんかいいね’があふれてる